

# 2022（令和4）年度 事業計画書

## 〔公益目的事業〕

### 1. 『第64回 日本レコード大賞』

日時（最終審査会及び放映）：2022年12月30日（金）17：30～（予定）

場所：新国立劇場 中劇場

過去2年間コロナ禍の状況にあり、内容が変更され、「賞」の数や、委員会の実施回数等が、大幅に縮小された形で行われたが、今年こそ例年通りのフル仕様でレコード大賞が開催できることを想定して予算計上する。

TBSとの実行委員会は、6月～7月にTBSにスタートし、予定通り12月30日日本番放映に向けて本年も事業を実行する予定。

### 2. 『日本作曲家協会音楽祭・2022』

日時：2022年10月3日（月）17：00～（開演予定）

場所：北区・北とぴあ さくらホール

一昨年、昨年とコロナ禍の影響で無観客開催となっていたが、今年度こそ例年通り観客を入れる形で実施したく、その方針で予算計上した。

メインゲストは、美川憲一、川中美幸（「特別選奨」選出歌手）、及び今年のソングコンテストグランプリ歌手である山本譲二の出演が加わることが内定している。

また、「奨励賞」を3～5組及び「ロングヒット賞」「ベストパフォーマンス賞」「ベストカラオケ賞」の3賞を選出し、それぞれの歌手への出演も依頼する。

歌の伴奏は本年も昨年に引き続き、生演奏ではなく、カラオケで行う予定である。

この音楽祭は、BSテレビ東京にて11月初旬の放映を予定しており、またYouTubeの当協会公式チャンネルからも発信するため、そのための動画制作も行う。

### 3. 『ソングコンテストグランプリ・2022』

作詩募集期間：2022年1月17日～2022年3月17日

作曲募集期間：2022年4月20日～2022年6月20日

本年度は、山本譲二を歌唱歌手として「作詩募集」をし、その後集まった応募作品の中から選出された2作品に対して曲を付けるという形で「作曲募集」を行うコンテストを実施する。

グランプリとなった作品は、10月3日（月）『日本作曲家協会音楽祭・2022』のステージで歌唱披露される。

作詩募集については、すでに山本譲二出演の動画を制作し、2021年12月28日にYouTubeで発信した。続いて、作曲募集に関しても、4月にアップすることを予定している。

このコンテストでは、最終的に選ばれた作品をCD化をしてレコード会社から発売することも目標としており、今年は9月頃の発売を予定している。そして発売された作品については、原盤権をレコード会社、日本作詩家協会、所属プロダクション、当協会で共同所有するように予算化した。

#### 4. セミナー（社会福祉委員会）

<スケジュール>

- ・2022年7月～2023年3月　：　音楽教室支援活動　　　　　　　4回  
　　　　　　　　　　　　　　オリジナル作品発表会　　　　　1回
- ・2022年12月中旬　　　　：　被災地復興支援  
　　　　　　　　　　　　　　学生ブラスバンド指導セミナー　2日間  
　　　　　　　　　　　　　　（TBSと連携）

社会福祉委員会は、音楽を通じて福祉面での社会活動をするという位置づけで活動を行っている。

2022年度は、「音楽教室支援活動」と「オリジナル作品発表会」と称するライブ活動を実施したい。参加については、広く一般から募集して、公益目的事業にふさわしい形にするとともに、新規会員の勧誘を目的ともしたい。

#### 〔収益事業〕

##### 1. 研修会（研修委員会）

<シンポジウム>

日時：2022年6月20日 実施予定

場所：JASRAC けやきホール

<研修旅行会>

日時：2022年10月 実施予定

場所：未定

- ・2021年度に延期となっていたシンポジウムを6月に開催予定。  
（研修委員会の目玉企画として事業計画を策定）
- ・コロナ禍で中止となっていた研修旅行会を今年こそ従来通り開催するとして予算計上する。ただし例年90名参加を予定してきたが、2022年度はそこまでの人数の参加は難しいとみて60名で事業計画を策定した。是非10月に開催したいと願っている。

## 2. 会報の発行（広報委員会）

広報委員会はこれまで通り年4回の会報を発行する。  
その中では、デジタル委員会のプロモーション活動である YouTube による  
会長、理事長の新年挨拶や、ソングコンテストの募集動画、理事のインタ  
ビュー動画等を会報の紙面でも紹介し、QR コードですぐ視聴できるよう  
な会員へサービスする  
紙面作りを行っていく。また、これらの広報活動は公式ホームページとも  
連携を取っていく。加えて各事業の紹介、会員紹介ページ、など広報活動  
も充実を図っていく。

以上